

平成 27 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 藤原 正明  
(コード：4583 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役執行役員 CFO 清田 圭一  
(TEL. 03-6383-3746)

## ナノ医療イノベーションセンターでの研究所設立中止に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 13 日付で公表しておりましたナノ医療イノベーションセンターでの新研究所設立計画は、本日（平成 27 年 8 月 14 日）開催の当社取締役会において、下記の理由により設立中止の決議をいたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 設立中止の理由

平成 27 年 2 月 13 日に iCONM への進出計画を当社取締役会で決議以降、新研究所設立に向けての準備を進めてまいりました。しかしながら、貸主側の設立準備に関わる意思決定の遅れ、施設の施工・運用ルール等の未整備状況が明らかになったことから、当初合意していたスケジュールでの設立が困難な状況となり、研究計画見直しの検討を迫られる事態となりました。

研究計画の遅延を回避することを最優先に考え、従前より株式会社リブテック（平成 27 年 7 月 1 日付で当社に吸収合併され解散）が使用してきた研究所の人員や設備を拡充し、抗体創薬研究所として継続稼働させることにいたしました。同研究所の主たる機能は抗体技術研究所から創出される抗体の薬理評価の実施であります。この度、最小限のコストで期待する成果を創出していく見通しがついたため、iCONM への進出を中止することを決定いたしました。

同研究所での研究開発活動は iCONM 進出計画と比較するとコンソーシアムとしての機能は劣るものの、初期投資を抑えながら研究開発活動を実施することができ、既に 3 つのリード抗体（※）を導出した実績が示すように抗体創薬から薬効試験までの実施環境は十分整っております。

※LIV-2008 と LIV-1205 です。協和発酵キリン株式会社へ過去に導出した LIV-1205 と平成 27 年 5 月に ADC Therapeutics 社へ導出した LIV-1205 は同一の開発コードを付しておりますが、別のプロファイルを持つ抗体です。

#### 2. 業績への影響

本件による平成 27 年 12 月期業績予想に対する影響につきましては、iCONM 進出を想定し計画していた設備投資及び費用の大部分と研究施設拡充のための移転に伴う特別損失として見込んでおりました 10 百万円が発生しない見込みとなります。一方、iCONM 進出見送りにより、本社設備の一部を見直したことで、固定資産除却損 3 百万円を特別損失に計上する予定です。詳細につきましては、本日別途公表の「平成 27 年 12 月期業績修正、中期経営計画の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上